森山 大道 x 蜷川 実花

会期：2011 年 8 月 6 日（土） - 9 月 24 日（土）［夏季休廊：8 月 14 日 - 22 日］
オープニング・レセプション：2011 年 8 月 6 日（土）19:00-20:00
会場：タカ・イシイギャラリー京都 / 小山登美夫ギャラリー京都

タカ・イシイギャラリー京都と小山登美夫ギャラリー京都は共同企画展「森山大道 x 蜷川実花」を開催いたします。

今回の企画展に際し、タカ・イシイギャラリーは森山大道の 80 年代を代表する写真作品「美しい写真の作り方・6 下高井戸のタイツ」20 点（すべてモダン・プリント）を展示いたします。『写真よさようなら』（1972 年）以降、自身が「写真との肉離れ」と語るスランプに陥った森山は、雑誌『写真時代』1981 年 9 月号から連載を開始した「光と影」シリーズにより、「写真とは何か」という問いに答えを見いだし、再び写真を撮る日々を取り戻します。

今回展示する作品は、「犬の記憶」シリーズ（『アサヒカメラ』1982 年 4 月号より連載）、「仲治への旅」シリーズ（『写真時代』1984 年 8 月より連載）、「DOCUMENTARY」シリーズ（『写真時代』1985 年 8 月号より連載）と並び、見事に復活を遂げた森山の、80 年代の旺盛な撮影意欲を証明する作品群の一つです。

小山登美夫ギャラリーは、蜷川実花の 7 月 20 日発売の写真集「月刊 MEN SPECIAL 窪塚洋介 NOWHERE」（発売元：ポニーキャニオン、税込価格：￥3,200）に収録されている作品を展示します。俳優業だけでなく様々な分野で活躍する窪塚洋介を蜷川実花が撮った、「共犯関係の二人が創った写真世界」（同写真集プレスリリースより）が表現されたシリーズです。

蜷川の作品がもつ、様々な感情、また非現実的な世界をも喚起するような独特の色彩。その光、また色の深度を強めることによって浮かび上がる闇。光をまとっていても、影に包まれていても、蜷川の作品の対象は彼女がつくりだす特別な世界の中だけでしか見せることのない一瞬の特殊な美、生の豊潤さをとらえられます。

[・・・]*館内の順路も終わりに近い壁面で、突如というか唐突というか、僕は蜷川実花さんの、あの原色の花々が氾濫する一枚の巨大パネルと出っ喰わしたのである。そして、そのパネルが辺りに放つ極彩色のインパクトは、それまで巡ってきた仄暗い館内と、時を経て多分にくすんで映る数々の名画との対比もあって、異様なまでの輝きと眩惑と凶々しさに充ちていた。つまりそれは、はっきりビジュアルスキャンダルであり、僕は内心でニヤリとした。*[・・・]

森山大道 『high fashion』2009 年 4 月号、p.55 より抜粋

[・・・]*森山さんの写真は、写真の世界に進めば進むほど、撮れば撮るほど大好きになっていくんですよね。*[・・・]*近作では、「ハワイ」(2007)がとくにショッキングでした。あんなハワイはこれまで見たことがない。写真の中にある影の濃さにゾクゾクしました。撮る人によって違う切り取り方をするのは重々承知ですが、「森山さんが撮るとこうなるんだ！」ということがあまりにもストレートに伝わってきて。*[・・・]

蜷川実花『美術手帖』2008 年 11 月号、pp. 86-87 より抜粋

この度初めて京都で実現した、時代を挑発するふたりの写真家の二人展を是非ご高覧ください。

【森山大道 x 蜷川実花 トークイベント】

日時: 8 月 6 日(土)18:30-19:00　　会場: タカ・イシイギャラリー京都 / 小山登美夫ギャラリー京都

モデレーター: 清水穣氏(美術評論家)

お申込み方法: 7 月 5 日(火)－27 日(水)の期間中、メールにて(宛先:kyoto@tomiokoyamagallery.com 件名:森山 x 蜷川 トークイベント申し込み)ご応募ください。抽選にて合計80名の方をご招待いたします。

【森山大道 略歴】1938 年大阪生まれ。主な作品として「にっぽん劇場写真帖」(1968 年)、「狩人」、「写真よさようなら」(1972 年)、「光と影」(1982 年)、「Daido hysteric」(1993－97 年)、「新宿」(2002 年)など。1999 年のニューヨーク・メトロポリタン美術館、2003 年のパリ・カルティエ現代美術財団など、90 年代後半から欧米で大規模な展覧会が行われた。2011 年 6 月 28 日より国立国際美術館(大阪)にて回顧展「オン・ザ・ロード 森山大道写真展」を開催。

【蜷川実花 略歴】東京生まれ。1997 年多摩美術大学美術学部卒業。第 26 回木村伊兵衛写真賞(2001 年)など数々の賞を受賞。主な展覧会に5カ所の国内美術館で開催された「蜷川実花展 - 地上の花、天上の色」(2008-2010 年)がある。監督を務めた映画『さくらん』(07 年)は、ベルリン国際映画祭出品作となった。作品集「MIKA NINAGAWA」(2010 年、Rizzoli N.Y.)など出版多数。11 月 6 日まで開催の第 54 回ヴェネツィアビエンナーレ関連企画展「Future Pass - From Asia to the World」に出展中。

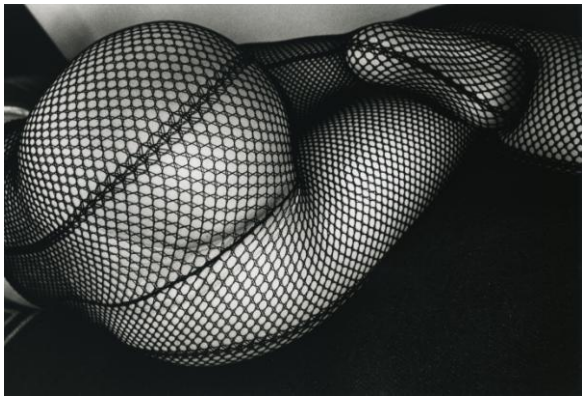
お問合わせ先:

タカ・イシイギャラリー京都 展覧会担当:上松エリサ / プレス担当:安丸順子

TEL: 075 353 9807 e-mail: kyoto@takaishiigallery.com

〒600-8325 京都府京都市下京区西側町 483 番地(西洞院通／新花屋町通 西南角)

入場無料／火曜日-土曜日／午前 11 時-午後 7 時／日・月・祝休業



森山 大道

「タイツ」 1987 - 2011 年

B & W プリント

©Daido Moriyama

蜷川 実花

窪塚 洋介

©mika ninagawa